

お客様へ

## お手入れのしかた／こんなときには・・・

### お手入れのしかた

#### お願い

- ・点検、お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
- ・点検、お手入れの際は、必ず手袋などの保護具を着用してください。
- ・清掃時に羽根を拭くときは変形させないよう注意してください。
- ・洗剤などを使用する場合は中性洗剤を使用してください。  
※ 使用方法は、洗剤メーカーの指示に従ってください。
- ・ほこりが多く付着すると、騒音・振動の原因となりますので 2 ヶ月に1 度を目安に清掃してください。  
清掃のポイント：ガードの目づまり、羽根・モーターのほこり
- ・ご使用にならないときは電源を切り、モーターに水や異物が浸入しないようシートなどで覆ってください。

### こんなときには・・・

現象	原因	処置方法
ファンが回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御ボックスの運転スイッチが OFF になっている</li> <li>・制御ボックスのブレーカーが OFF になっている</li> <li>・24 時間タイマーが OFF の時間になっている</li> <li>・ヒューズが切れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手動または自動にしてください</li> <li>・制御ボックスのブレーカーを ON にしてください</li> <li>・24 時間タイマーの設定を変えてください</li> <li>・ヒューズを交換してください</li> </ul>

お客様へ

## 保証／アフターサービス

- グリーンキープファン（移動式）の保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工などの不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理いたします。ただし、客先での改造、仕様変更、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。なお、グリーンキープファン（移動式）は送風用に設計しております。使用状況および用途が異なる場合は、保証できない場合がありますのでご注意ください。

下記の事項に係る修理は無償修理の対象から除きます。

1. 送風用目的以外で使用した場合の不具合
2. お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. 当社が定める工事説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 塩害地域、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
5. ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
6. 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波などの天変地異または戦争・暴動などの破壊行為による不具合
7. 消耗部品の消耗に起因する不具合
8. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

- 補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、この本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後、6年保有します。

- アフターサービスなどについておわかりにならないときは、お買い上げの販売店または下記までご相談ください。

### パナソニック環境エンジニアリング株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 パナソニック エコシステムズ内 TEL0568-81-1162

愛情点検	長年ご使用のグリーンキープファン（移動式）の点検を！	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。</li> <li>・運転中に異常音が生じたり振動がある。</li> <li>・異臭がする。</li> <li>・その他、異常を感じる。</li> </ul>	<p>ご使用中止</p> <p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店または工事に点検・修理を依頼してください。</p>

### パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2011

80KFCB7500F-P0411-6041

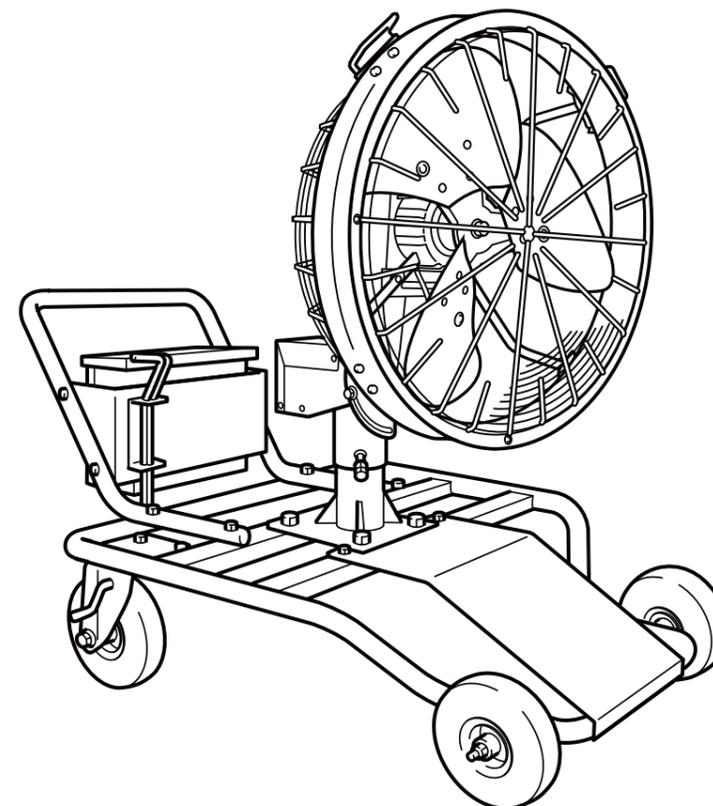
# Panasonic®

取扱説明書

## グリーンキープファン（移動式）

品番

NK-80KFC



### この説明書は必ずお客様にお渡しください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2～4ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書を大切に保管してください。
- この取扱説明書は最終需要者様まで確実にお渡しください。

この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

### もくじ

安全上のご注意	2～4
各部の名前と寸法	5～6
組み立て	7～8
試運転	9
使い方	9～11
仕様	11
お手入れのしかた／こんなときには	裏表紙
保証／アフターサービス	裏表紙

# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
 ■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

**注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。  
 (次は図記号の例です)

してはいいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

## 警告

■ 仕様変更、改造、分解は絶対にしない

火災・感電・けがの原因となります。

分解禁止

● 修理は販売店へご連絡ください。

■ 電圧による回転制御をしない

モーター焼損の恐れがあります。

禁止

■ 送風目的以外では使用しない

予期せぬ事故の原因になります。

禁止

■ 運転中に移動させない

転倒、接触事故の恐れがあります。

禁止

■ 配線工事は電気設備技術基準、内線規定及び工事説明に従う

あやまった配線工事は漏電・感電・火災の恐れがあります。

■ 雨や水のかかる場所には設置しない

ショート・漏電・感電の恐れがあります。

水場使用禁止

■ スイッチや分電盤のブレーカーをぬれ手で切/入しない

感電の恐れがあります。

禁止

■ 製品は指定の方法で確実に組み立て・設置する

予期せぬ事故の原因になります。

■ 車輪の固定とアンカーの差し込みを確認してから運転する

台車を固定しないとファンの風で台車が移動し、予期せぬ事故の原因となります。

■ D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース線接続

■ 吸込口、吹出口の中や可動部へ指や物などを入れない

けがをする恐れがあります。

接触禁止

■ モーターには水をかけない

ショート・漏電・感電の恐れがあります。

禁止

■ 不安定な場所や傾斜地でファンを運転しない

転倒、接触事故の恐れがあります。

禁止

■ 据え付け、配線工事は専門業者に依頼する

接続が不完全な場合は発熱し火災の原因となります。

● 特に電気工事は法律により免許のない者の工事は禁止されています。

■ 漏電ブレーカーを必ず取り付け

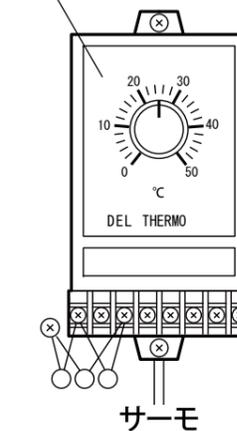
漏電・感電の恐れがあります。

## 自動運転（サーモ併用）

24 時間タイマーとサーモによる自動運転

- 運転スイッチが「切」になっているのを確認してから制御ボックスの蓋を開け、ブレーカーをONにします。
- サーモの温度設定つまみで希望の温度に設定し、制御盤の蓋を閉めます。  
10 ページと同じように 24 時間タイマーの設定を行ってください。
- サーモ切替スイッチを使用目的に応じて切替えます。
- 自動モード切替スイッチ「サーモ併用」にし、運転スイッチを「自動」にします。サーモ併用運転がはじまります。

温度設定つまみ



冷/暖 切換えスイッチの用途

スイッチ	用途	ファンの動き
夏期	蒸れ対策	設定温度以上で運転
冬期	防霜用	設定温度以下で運転

## お客様へ

### 仕様

品番	電源	周波数 (Hz)	公称出力 (kW)	風量 (m³/min)	電流 (A)	消費電力 (W)	首振角度	質量 (kg)	騒音 (dB)
NK-80KFC	3相 200V	50	1.8	1760	6.3	1200	90°	100	69
		60		2200	7.0	1800			72

※) 首振り速度は 50Hz z … 0.46 回 / 分、60Hz z … 0.55 回 / 分

※) 風量はファン前方 6m での測定値です。

※) 騒音は地上 6m、俯角 45° に取り付けられた状態でファン前方 6m、地上 1m での値です。

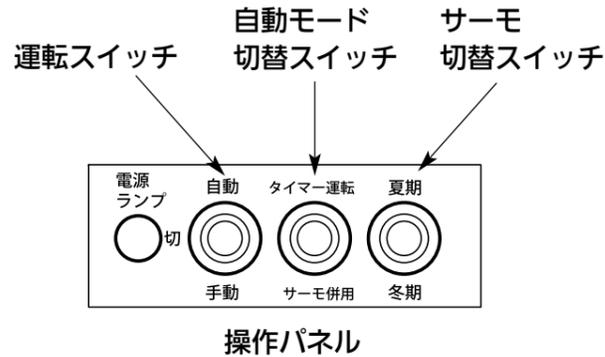
## お知らせ

- 各特性値は静圧 0Pa (バスカル) 時における基準値を示します。静圧 0Pa (バスカル) とは、換気扇におよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。
- 電流、消費電力、風量の値は表記に対して ±10% の許容差があります。

# 操作

## 手動運転

- 運転スイッチが「切」になっているのを確認してから制御ボックスの蓋を開け、ブレーカーをONにします。電源ランプが点灯します。
- 制御ボックスの蓋を閉め、操作パネルの運転スイッチを「手動」にします。ファンが回転します。



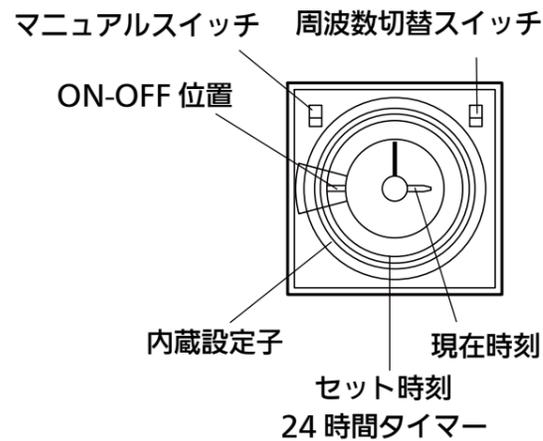
## 自動運転 (タイマー運転)

### 24 時間タイマーの自動運転

- 運転スイッチが「切」になっているのを確認してから制御ボックスの蓋を開け、ブレーカーをONにします。電源ランプが点灯します。
- 24 時間タイマーを設定します。(下記参照)
- 自動モード切替スイッチを「タイマー運転」にし、運転スイッチを「自動」にします。タイマー運転がはじまります。

### 24 時間タイマーの設定

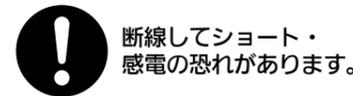
- 24 時間タイマーの保護カバーを外してください。(側面をつまんで手前に引くと外れます。)
- 周波数切替スイッチをご使用の電源の周波数に合わせてください。(工場出荷時は 60Hz に合わせてあります。)
- 現在時刻を合わせてください。(午前・午後はON・OFF位置の赤い線上にくるセット時刻で見分けることができます。)(必ず中央時計部のつまみを矢印方向(右)に回してください。)
- 運転時間を以下のように設定してください。  
ON設定: 内蔵設定子をカチッと音がするまで内側に倒す。(ダイヤル外周部に赤色が現れます。)  
OFF設定: 内蔵設定子をカチッと音がするまで外側に倒す。(ダイヤル外周部に赤色が隠れます。)



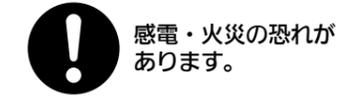
※マニュアルスイッチはAUTOのままにしてください。ONにしますと内蔵設定子の設定に関係なく常時ONとなります。

# 警告

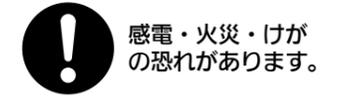
■本体の電線に無理な力がかからないように配線する



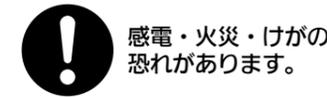
■入力電源OFFを確認してから配線する



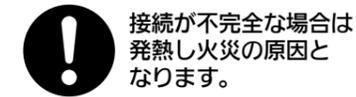
■本体を設置してから配線する



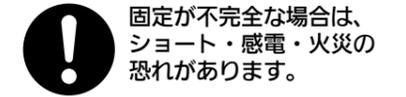
■異常時、点検、お手入れの際は、電源を切る



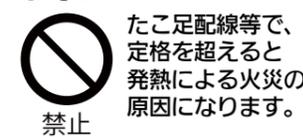
■電線の接続は確実におこない、接続後は絶縁処理をする



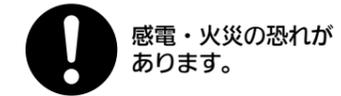
■配線の固定は確実におこなう



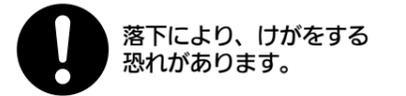
■コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない



■振動、羽根が回らない等の異常時には使用を中止する



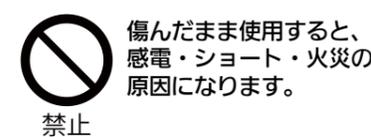
■使用を終了した製品は放置せず撤去する



●修理は販売店へご連絡ください。

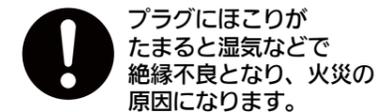
■電源コード・電源プラグを破壊するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、ガード面や他の熱器具に近づけたり無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。



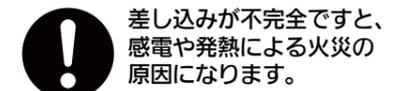
●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く



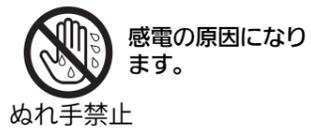
●電源プラグを抜き、乾いた布でふく。  
●使用中以外は電源プラグを抜く。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

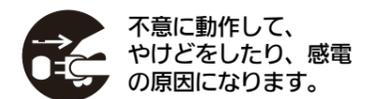


●傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししない

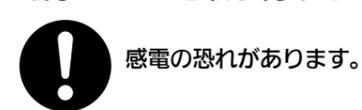


■お手入れの際は、必ず電源を切り電源プラグを抜く

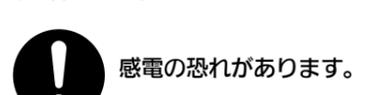


電源プラグを抜く

■各端子への接続後は必ず端子カバーを取り付ける



■表扉は必ず施錠する



## ⚠️ 注意

■酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には本製品を設置しない

❌ 禁止  
ガスによる中毒や本製品の腐食、劣化が発生し、予期せぬ事故の原因になります。

■本体は十分強度のある所にしっかり固定する

❗ 落下によりけがをする恐れがあります。

■雨の日、風の強い日は使用しない

❗ 感電、ショートの原因があります。

■屋外に放置しない

❗ 感電、ショートの原因があります。

■長期間ご使用にあらないうきは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

❗ 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

■施工時、点検時には、必ず手袋などの保護具を着用する

❗ 板金などの切り口や、本体の突起角などでけがの原因となります。

■本体がしっかりと固定されているか確認する

❗ 台車が移動し、予期せぬ事故の原因となります。

■運転中は製品に近付かない

❌ 禁止  
予期せぬ事故の原因になります。

■機器の上に乗らない

❌ 禁止  
転倒事故の恐れがあります。

■首振り範囲内に障害物を置かない

❌ 禁止  
転倒事故の恐れがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

❗ ショートや感電して発火することがあります。

■重量物のため、十分注意して設置する

❗ けがをする恐れがあります。

■3相200Vに接続する

❗ 感電・火災の原因になります。

■モーターに触らない

❌ 禁止  
高温になっているので、やけどをする恐れがあります。

■電源コードを無理に引っ張ったり、ねじったり重い物を載せない

❌ 禁止  
コードが損傷し、火災感電の原因となります。

■自動運転をする場合は事前に手動で運転し、周囲の障害物の確認や人が近づかないことを確認の上、運転する

❗ 事故の原因となります。

工事店様へ

## 試運転

試運転の前に以下の項目について確認してください。

### ■電気系統

- 電線の接続は確実か？  電源電圧は規定通りか？  漏電ブレーカーは接続したか？  
 電線の固定は確実か？ (200V±20V)  
 欠相になっていないか？  アース線の接続は確実か？  
 絶縁試験はおこなったか？  接地抵抗は基準値以内か？

### ■強度その他

- 本体の固定は確実か？  
 設置場所の強度は十分か？  
 部品は確実に取り付けられているか？  
 設置方法に間違いはないか？

### 試運転

- ・電源を入れるとファンが回ります。羽根の回転方向は吐出側から見て右回転です。
- ・異常がないことを確認してください。

工事店様へ

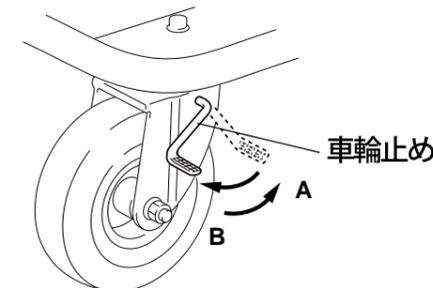
お客様へ

## 使い方

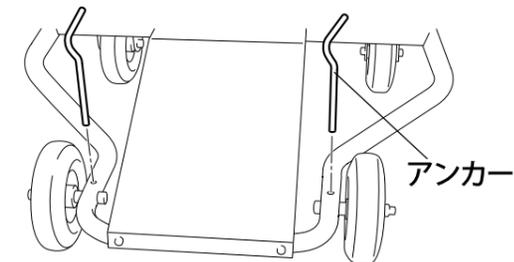
### 運転前の準備

#### 車輪のロック

- (1) 後輪部わきの車輪止めをAからBに移動し、後輪をロックします。(左右2箇所)



- (2) 前輪部の穴からアンカーを地面にしっかりと差し込み前輪をロックします。(左右2箇所)



- (3) 電源プラグをコンセントに差し込みます。  
※必ず制御ボックスのブレーカーがOFFになっていることを確認してからおこなってください。

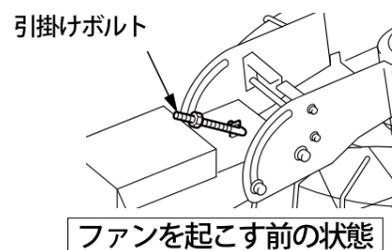
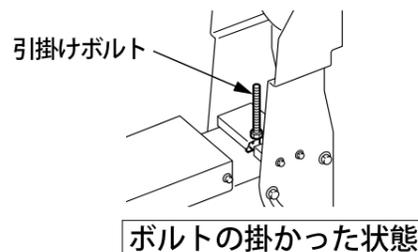
## お願い

- 吸込側、吐出側に障害物を置かない
- 氷結する場所に取り付けない
- 冠水、冠雪のないようにしてください

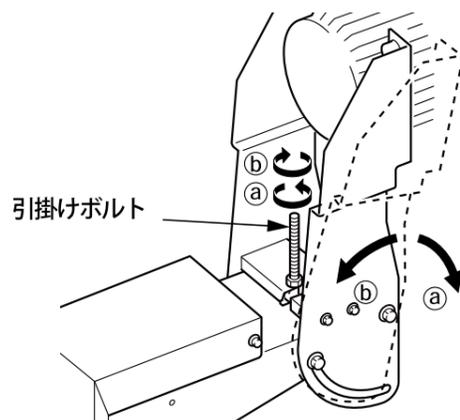
# 各部の名前と寸法

単位：mm

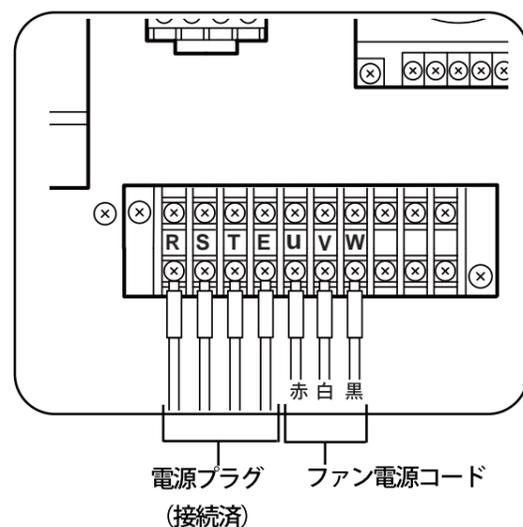
- (7) 両手でファン取っ手を持ってファンを起こし、引掛けボルトをしっかりと掛けてください。  
 (下左図参照)  
 ご注意：ファンを起こすとき、引掛けボルトがファン部分の反対側を向いていることを確認してください。(下右図参照)



- (8) 引掛けボルトのナット部分で俯角調整をし、俯角調整ボルトを締めてください。(右図参照)
- ・ ナット部分を①方向（反時計回り）に回すと、ファンが下方向に向きます。
  - ・ ナット部分を②方向（時計回り）に回すと、ファンが上方向に向きます。
- ※ 俯角調整のあとマジック等で目印を付けておきますと、次回からの俯角調整が楽になります。

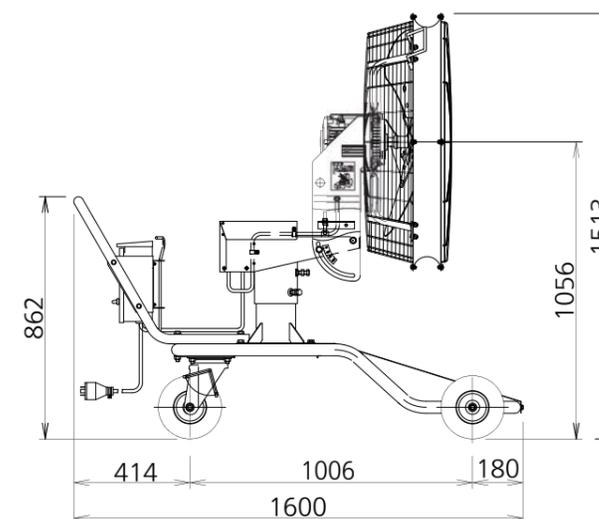
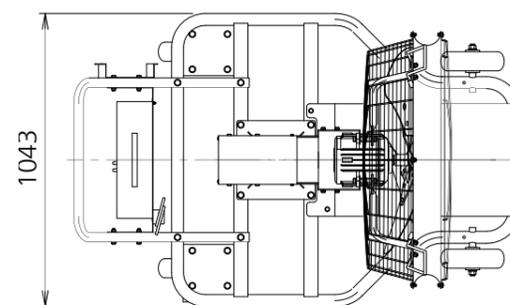
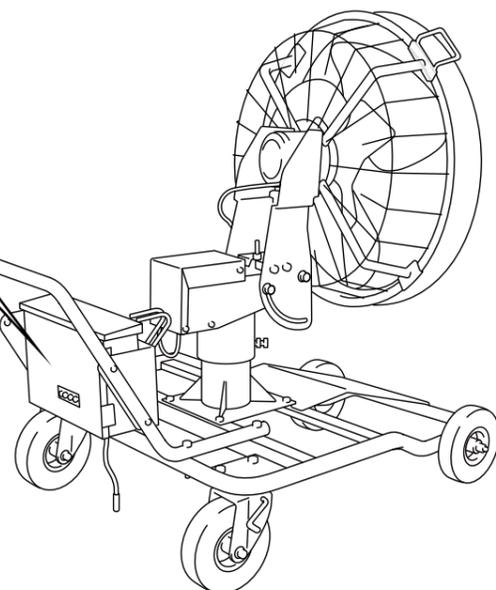


- (9) ファンから出ている電源コードを制御ボックス端子台に下図のように結線してください。



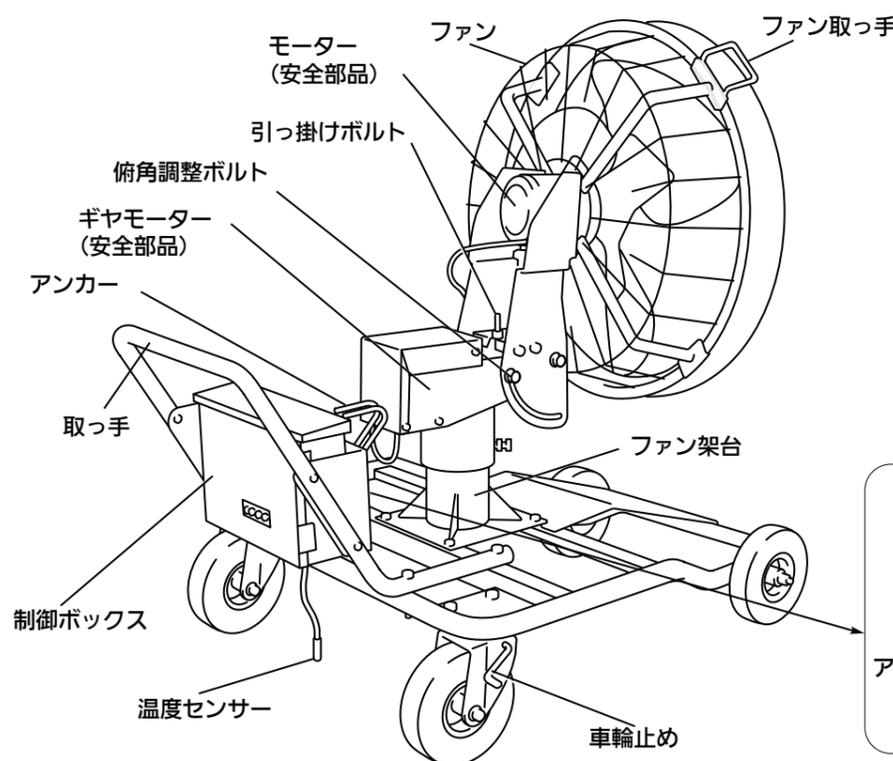
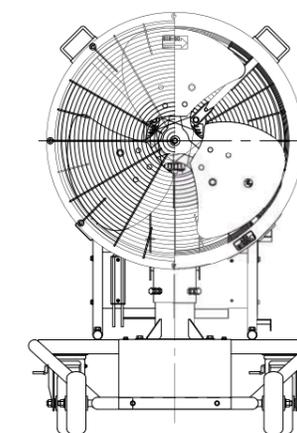
- ※ ファンの端子接続は誤りのないように接続してください。短絡する場合があります。
- ※ ファンの回転方向が逆のときは、電源を切って、3本の線のうち2本を入れ替えてください。

- (10) 各部のボルトが締まっているのを確認したら完成です。



制御仕様

運転パターン	内容
手動	スイッチによる運転
自動運転 タイマー	24時間タイマー制御
自動運転 タイマー+サーモ	設定温度範囲：0~50℃ 夏期・冬期切替付

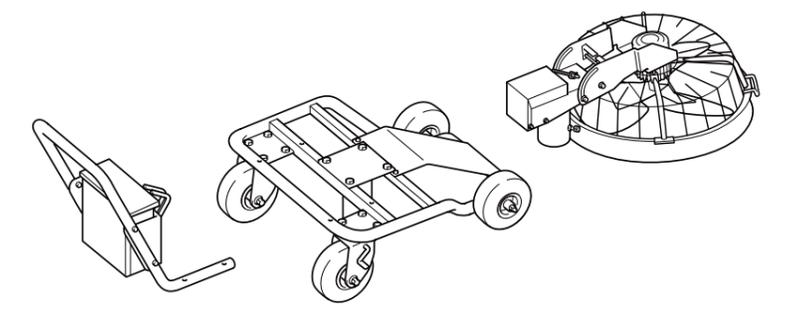


# 組み立て

(1) 梱包されている商品を取り出します (3箱)。

下記の付属品が取っ手の梱包に入っているのを確認してください。

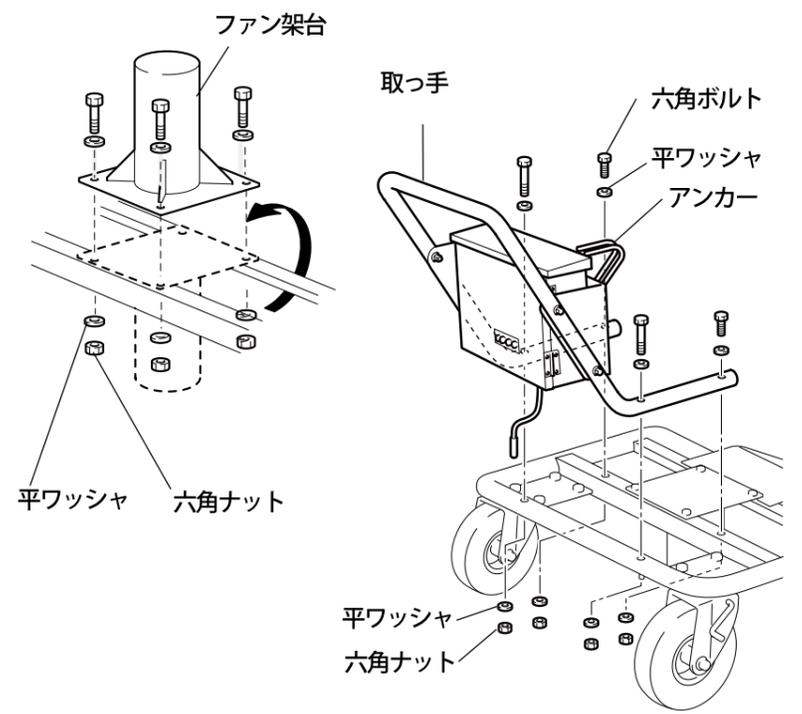
- アンカー 2本
- 取扱説明書
- 取っ手取付用  
ボルト長・短 各2本
- 平ワッシャ 8枚
- 六角ナット 4個



(2) 台車組に固定されているファン架台のボルトを外します。(4箇所)

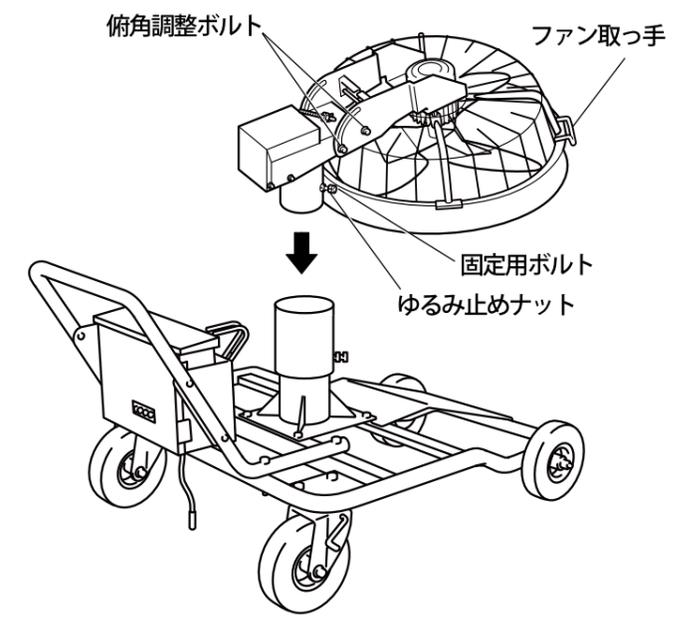
(3) ファン架台の向きを上下逆にし、六角ボルトで固定します。(4箇所)

(4) 台車部に取っ手を取付け、六角ボルトで固定します。(4箇所)  
※ アンカーはアンカーホルダーに納めてください。



(5) ファン架台の上端部が取付金具の底に当たるまでファンを挿入します。固定用ボルトを締め、ゆるみ止めナット (3箇所) を確実に締めます。

(6) 俯角調整ボルトをゆるめてください。(4箇所)  
※ 必ずファンがしっかりと固定されていることを確認してください。



## 制御ボックス

